

## 令和7年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立翔陽高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 経営企画室長＝事務局長、副校長マネジメント支援員＝記録 計2名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、教育情報部主任、教務部主任、生活指導部主任、進路部主任、2年次主任  
計7名
- (4) 協議委員の構成  
学識経験者（大学教授2名）、近隣小中学校長、地域住民代表（近隣自治会長）、警察、  
保護者代表（PTAサポート隊長、副会長）  
計7名

### 2 令和7年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和7年6月6日（金）内部委員7名、協議委員7名  
協議委員委嘱、委員紹介  
学校経営計画、本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和7年11月7日（金）内部委員7名、協議委員5名  
学校評価アンケートに関する意見  
協議委員からの教育活動に対する意見・質問
  - 第3回 令和8年2月6日（金）内部委員6名、協議委員5名  
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議  
各分掌等からの年度末報告、学校評価（地域）の報告  
協議委員からの教育活動に対する意見・評価
- (2) 評価委員会（第1・2回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和7年11月7日（金）内部委員2名 評価委員2名  
学校評価の基本方針の確認。昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の内容、実施時期、評価の観点に向けた検討
  - 第2回 令和8年2月6日（金）内部委員2名、協議委員1名  
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書の検討  
分析による次年度の課題等の提言内容の検討

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・1月 全校生徒 対象：637人 回収：627人 回収率：98.6%
  - ・1月 保護者全員 対象：638人 回収：234人 回収率：36.8%
  - ・1月 教職員 対象：56人 回収：56人 回収率：100.0%
- (3) 主な評価項目
  - ・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、体罰・いじめ、働き方改革に関する項目を約計20項目設定した。
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
  - ・「本校に入学して（させて）よかった」と肯定的に回答した生徒が86.7%、保護者が93.2%と高い評価を受けており、学校運営に対しておおむね肯定的である。
  - ・英語教育、国際理解教育等、本校の特色を生かした教育活動に生徒、保護者も理解を示している一方で、カリキュラムや学習活動が学力向上のニーズに合っているかについては、十分に満足したものとはいえない状況である。
  - ・8年度入学選抜の募集倍率は、昨年度よりは向上したものの（推薦選抜2倍、一次0.89、二次1.47）中学生が同レベルの都立や私立を選択する傾向があるため、今後も分析し対応する必要がある。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
  - ・保護者の回収率が低いことが課題である。内容としては、「概ね充実している」との認識。教育相談については、わかりにくいとの回答があることから、今後PRが必要。

- ・自由意見には、盗撮等に係る意見があった。内容としては、昨年1学期に女子更衣室へのカメラ設置。女子トイレへの男子生徒の侵入の2件である。カメラの設置については、発見後直ちに警察に通報し、現在捜査継続中である。トイレへ侵入については当該生徒への指導及び教員による見回りを実施している。さらに、不審者の学校敷地内への侵入を防ぐため、校門閉門の措置等の対策をとっている。
- ・学力層の2分化は1年次が顕著である。昨年度入試における全員入学も一因と考える。
- ・学力の低い層へのボトムアップを図る対応は、長期休業中に補習等を強化していく。
- ・募集対策に学校全体で努力した一定の成果が見られたことがわかる。
- ・生徒が主体的な学びや探究活動において、取り組んでいる。
- ・「合理的配慮」を必要とする生徒が増えているため、該当する生徒に対して面談を行い、2学期から検査時にタブレットを使用した取り組みを実施していることなどの取組は良い。
- ・3年次3月末までは羽目を外さないように、大学受験に際しよく対応している。
- ・体育館の放送設備等は回収が行われたので安心している。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

##### (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

本校では、英語教育や国際理解教育など学校の特色を生かした教育活動を行っており、生徒や保護者からの期待も高く、より一層の教育活動の充実が求められている。また、近隣の中学校や地域からも高い評価を受けている。今後も、規範意識を身に付けた地域貢献に力を発揮する生徒の育成が必要である。

##### (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

カリキュラムや学習活動が生徒の学力向上に適切であるか、十分に満足しているかの見極めが必要である。模試分析や生徒の状況を把握しながら、大学進学に向けた改善が求められている。また、私学の授業料実質無償化の影響もあるが、募集対策に関しては、学校の魅力向上が第一であるため、募集対策委員会を中心に全教職員一丸となって対応する必要がある。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

##### (1) 学校運営

- ・保護者や関係機関との連携を深め、教育活動のより一層の充実を図る。また、学校HPやSNSを活用しながら情報を発信する。
- ・進学指導研究校として、進路指導及び教科指導の分析を充実させながら進学実績を向上させるとともに、進学指導研究校拠点校として他校を指導・助言する。
- ・施設老朽化には改善できるところから適宜対応する。

##### (2) 学習指導

- ・大学進学に目標を定めた授業改善を学校全体で推進する。長期休業日中の講習や補習は、生徒の状況に応じた講座を適切に設定し、組織的・計画的に生徒の学力向上を図る。
- ・生徒の状況を見極めてカリキュラムや学習活動を設定し、大学進学に向けた指導を充実させる。
- ・主体的で探究的な学びを実践し、学習習慣の定着に向けた組織的な指導を行う。

##### (3) 特別活動

- ・3大行事（文化祭、体育祭、合唱祭）の改善・充実化を図る。
- ・効果的な部活動指導の実践と、活動内容や実績を学校HPで掲載し広報活動を充実させる。
- ・海外修学旅行や海外研修旅行の改善・充実化、海外への生徒派遣、海外の学校との姉妹校提携、国内での大使館訪問等、国際探究部を中心として国際理解教育に精力的に取り組む。

##### (4) 生活指導

- ・各年次担任や生活指導部を中心として、教職員全体で共通理解を図り、規範意識を醸成させる。
- ・生徒や保護者の意見を広く取り入れながら、適切に生徒心得を周知する。

##### (5) 進路指導

- ・進路指導部のリーダーシップを確かなものとし、大学進学に向けた指導の改善・充実化を図る。
- ・長期休業期間中に補習や講習を効果的に行いながら、生徒の学力向上を図る。
- ・「はばたきタイム」で模試分析等を効果的に行いながら、キャリア教育を充実させる。

##### (6) 健康・安全

- ・コーディネーターが中心となりながら、特別支援教育を充実させる。
- ・環境美化およびゴミ箱の設置や使用法についてのルールを周知徹底させる。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 7人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多分そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
7						

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 なし 企画調整会議 なし

【成果】 内部委員による報告等により職員へ周知した。委員の意見を参考に、目指す学校像に基づく教育活動の充実化に向けて改善することができた。

8 その他

- ・学校評価アンケートの回収方法を検討し、回収率を上げていく。
- ・学校評価アンケートの内容をさらに精査・分析し、学校経営に生かしていく。
- ・保護者より、盗撮事件に対する警察の捜査や学校の対応する指摘がある。また、校舎（特にトイレ）の老朽化への指摘を受けており改善できる部分は検討し、引き続き東京都にも打診していく。